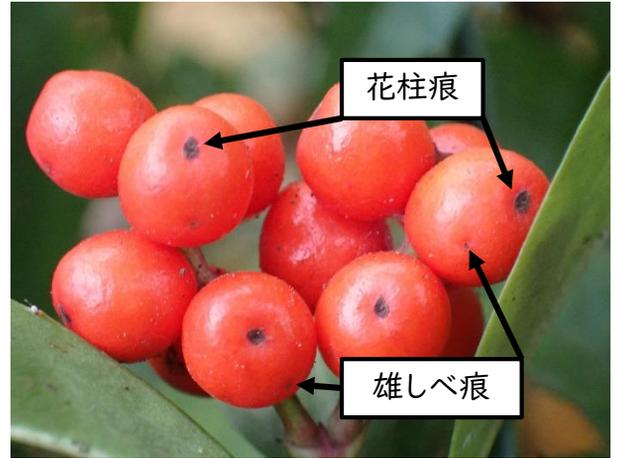


植物多様性センターの「センリョウ」

センリョウの実が色付きました。センリョウ(千両)はセンリョウ科の常緑低木です。南方系の植物で照葉樹林の林床に生育します。被子植物の中では原始的な特徴を持ち、道管ではなく仮道管で維管束の木部を構成しています。ナンテン(南天)やマンリョウ(万両)とともに、お正月を彩るおめでたい植物としてこれからの時期はよく目にしますが、学習園では園内一番東側の園路沿いでセンリョウとキミノセンリョウをみることができます。



実は枝の先端にまとまって付く。



実：花柱の痕と雄しべの痕が見える。



葉：鋸歯があり、対生する。枝先では節間が狭まって密に付く。



キミノセンリョウ：黄色い実を付ける品種。